

中央区特色ある区づくり事業

「あんしん見守り支援事業」

(平成23年度～平成24年度事業)

目的

今後一段と高齢化が進む中、高齢者をはじめ児童・障がい者などを見守る体制の整備が重要となっている。その中で「ふれあいいきいきサロン」や「多世代交流サロン」などは、地域の中で人と人を結ぶ交流の場として、また気軽に無理なく楽しく過ごせる『居場所』として、地域で重要な役割りを果たしている。その資源をこれからも有効に活用していけるよう、また新たな地域での新たな取組みが始まるよう支援していくとともに、住み慣れた地域での安心・安全な暮らしを確保する。

効果

地域で行うゆるやかな見守りの実施を支援することにより、子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまちづくりを目指すとともに、地域住民の繋がりを強め、地域コミュニティの充実を図る。

内容

一人暮らしの高齢者などを、地域が支えあい、気軽に声を掛け合う地域づくりを進めるため、地域から編集委員を募り「地域見守り活動マップ」を作成する。活動中の地域のサロンなどのほか、休憩スペースなどを提供している商店・事業所など、地域をあらためて見つめなおしてもらい、地域の役立つ情報を併せて紹介することにより、サロンなどの利用の促進と新たな地域活動のきっかけづくりになるよう発行する。

①地域見守り活動マップ作成事業

- ・平成23年7月から月1回（計6回）の編集会議を行い、3月完成予定。
- ・編集委員の構成 各コミ協単位で3～4名参加（コミ協、民協に推薦依頼）
- ・発行部数 9,000部 自治・町内会の各班に配布予定

②中央区地域健康福祉計画啓発事業

地域のコミ協や民協などに出向き、地域活動支援

平成24年度の事業

内容

さらに地域の意見や考え方を取り入れて、高齢者の視点に立ってマップを見直し、地域の新たな情報を加えた改訂版を発行する。